

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 1 月 10 日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (1/10 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度
1 号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.1 m <sup>3</sup> /h	17.9 °C	106.6 kPa abs	A系： 0.05 vol%
		給水系：約 2.5 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.07 vol%
2 号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 3.0 m <sup>3</sup> /h	25.8 °C	6.24 kPa g	A系： 0.03 vol%
		給水系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.03 vol%
3 号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 3.5 m <sup>3</sup> /h	24.8 °C	0.21 kPa g	A系： 0.10 vol%
		給水系：約 1.8 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.08 vol%

\*1：絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

### 【3号機原子炉建屋5階中央部近傍(機器貯蔵プール側)での湯気発生状況】

- ・H26/1/9 7:51 頃 湯気をカメラにて確認。(気象データ [1/9 7:50 時点]: 気温 3.8°C、湿度 94.2%)  
※ プラント状況、モニタリングポスト指示値等に異常なし。

### 【3号機原子炉注水流量変更】

- ・3号機原子炉建屋1階において、無人重機による障害物撤去作業を実施しているが、1/14 から 1/22 の期間、原子炉注水系の炉心スプレイ系の注水ラインの近傍で作業を実施することから、念のため、1/14 から 1/23 の期間、炉心スプレイ系からの注水を停止し、給水系で全量注水する予定。

#### 【実施予定内容】

- 1/14 炉心スプレイ系原子炉注水流量：3.5 m<sup>3</sup>/h から 0 m<sup>3</sup>/h  
給水系原子炉注水流量：2.0 m<sup>3</sup>/h から 5.5 m<sup>3</sup>/h
- 1/23 炉心スプレイ系原子炉注水流量：0 m<sup>3</sup>/h から 3.5 m<sup>3</sup>/h  
給水系原子炉注水流量：5.5 m<sup>3</sup>/h から 2.0 m<sup>3</sup>/h

## < 2. 使用済燃料プールの状況 > (1/10 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1 号機	循環冷却システム	運転中	12.5 °C
2 号機	循環冷却システム	運転中	11.3 °C
3 号機	循環冷却システム	運転中	9.5 °C
4 号機	循環冷却システム	運転中	16.8 °C

※各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘビドラジンの注入を適宜実施。

- ・H25/11/18 15:18～ 4号機使用済燃料プールから燃料を取り出す作業を実施中。なお、同作業は平成 26 年末頃まで行う予定。
- ・1/14 4号機使用済燃料プール代替冷却系の循環冷却設備弁点検に伴い、約 6 時間停止予定。4号機使用済燃料プール水温は 1/10 11 時時点で 16.8°C であり、冷却停止時のプール水温度上昇率評価値は 0.297°C/h で停止中のプール水温上昇は約 2°C と評価されることから、運転上の制限値 65°C に対して余裕があり、使用済燃料プール水温度の管理上問題なし。

## < 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	→ 移送先	移送状況
3 号機	3 号機 タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設 (雑固体廃棄物 減容処理建屋 [高温焼却炉建屋])	12/17 16:00 ～ 移送実施中

#### < 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (1/10 11:00 時点)

設備	セシウム吸着装置	第二セシウム吸着装置(サリー)	除染装置	淡水化装置(逆浸透膜)	淡水化装置(蒸発濃縮)	多核種除去設備(ALPS)
運転状況	停止中	運転中*1	停止中	水バランスをみて断続運転	水バランスをみて断続運転	ホット試験中*2

\*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

\*2 当面は、3系列のうち2系列による運転を実施することで2系列運転の稼働率を向上させていくこととし、準備が整い次第、3系列の同時運転を実施予定。

・ B系：平成26年1月下旬頃（予定）に腐食対策有効性確認のため、処理運転を停止予定。

・ H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

・ H26/1/7 多核種除去設備B系において、H I C交換作業中にクレーンに不具合が発生したことから、H I C交換作業を中断。その後、1/9に当該クレーンの走行モータ4台の内、1台に異常を確認。当該クレーンについては、異常が確認されたモータを含む2台を除外した状態で走行できることを確認したことから、循環待機運転中のA・C系については、H I Cの交換作業を行った後、処理運転に移行する。なお、異常を確認した走行モータについては、今後、取り替えなどの処置を行う予定。

H26/1/10 15:37 多核種除去設備C系のH I C交換作業が終了したことから処理運転に移行し、処理運転後の状態に異常がないことを確認。引き続き、多核種除去設備A系についてもH I C交換作業を実施。

#### < 5. その他 >

・ H26/1/9～ 1～4号機取水路開渠内入口におけるシルトフェンス交換実施中。

##### 【H4エリアタンク等からの水の漏えい関連】

<トピックス>

・ H25/12/10 10:10～ 汚染水拡散の防止策として、H4エリア周辺に設置したウェルポイントから地下水の汲み上げを再開。

<タンクエリアパトロール実績(1/9)>

・ 高線量当量率箇所(β+γ線(70μm線量当量率))は確認されず。

・ 堰床部に雨水が溜まった箇所については、雨水による遮へい効果により線量当量率は低い状態となっている。

・ 目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと(漏えい確認ができない堰内溜まり水内を除く)を確認。

・ 汚染水タンク水位計による常時監視で、タンク水位に異常がないことを確認。

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

・ H4エリア周辺観測孔E-1にて1/8に採取した地下水のトリチウム分析値が、1/7採取分の360,000 Bq/Lから17,000 Bq/Lに低下。これは近傍ウェルポイントの地下水くみ上げの影響によるものと考えられる。その他の分析結果については、前回採取した測定結果と比較して有意な変動なし。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

・ 前回採取した測定結果と比較して有意な変動なし。

##### 【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<トピックス>

・ 1,2号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット(南)地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は1/10 0:00時点で約7,052m<sup>3</sup> \*集水ピット(南)およびウェルポイントの総量

<地下水観測孔サンプリング実績>

・ 前回採取した測定結果と比較して有意な変動なし。

<移送関係>

・ 2,3号機東側に設置したウェルポイント(バキュームによる強制的な排水設備)からの地下水汲み上げおよび2号機タービン建屋への移送を適宜実施中。

・ H25/12/11～ 1,2号機間護岸エリア地下水観測孔No.0-3-2でトリチウムが検出されていることから、当該観測孔からの地下水の汲み上げを試験的に適宜実施中。

##### 【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<トピックス>

・ H25/7/1～ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。

・ H25/10/3～ 地下貯水槽No.1の汚染範囲調査開始。

- ・ H25/10/23～ 地下貯水槽 No. 6 において浮き上がり対策を実施中。
- ・ H25/11/15～ 地下貯水槽 No. 5 において浮き上がり対策を実施中。
- ・ H25/11/19～ 地下貯水槽 No. 1 において浮き上がり対策を実施中。
- ・ H25/11/28～ 地下貯水槽 No. 3 において浮き上がり対策を実施中。
- ・ H25/12/ 7 ～ 地下貯水槽 No. 2 において浮き上がり対策を実施中。
- ・ H25/12/16～ 地下貯水槽 No. 7 において浮き上がり対策を実施中。

<地下貯水槽サンプリング実績>

- ・ 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以 上